

第117回 評議員会・第62回 総 会

日 時 平成19年5月19日(土) 13時00分～14時50分

場 所 東京電機大学神田キャンパス7号館1階丹羽ホール

議 案

評議員会
総 会

- | | | |
|------|-------|---------------------|
| 共通 | 第1号議案 | 平成18年度事業報告承認の件 |
| | 第2号議案 | 平成18年度決算承認の件並びに監査報告 |
| | 第3号議案 | 平成19年度事業計画案承認の件 |
| | 第4号議案 | 平成19年度予算案承認の件 |
| | 第5号議案 | 平成19・20年度評議員選出の件 |
| 評議員会 | 第6号議案 | 理事・監事選出の件 |

— ※ —

東京電機大学学園創立100周年公開講演会

主催：学校法人東京電機大学 共催：社団法人東京電機大学校友会

時 間 15時00分～16時30分

場 所 東京電機大学神田キャンパス7号館1階丹羽ホール

講 師 工学部電気電子工学科 小谷 誠 教授

演 題 最近の脳科学に基づく教育のあり方

—早期教育から再生医療・認知症予防法まで—

懇親会(立食パーティー)

時 間 16時45分～18時15分

場 所 東京電機大学神田キャンパス11号館17階大会議室

会 費 無 料

(講師プロフィール)

小谷 誠(こたに・まこと) 東京電機大学工学部電気電子工学科教授
昭和12年高知県生まれ。昭和36年東京電機大学工学部卒業。昭和50年10月から2年間、マサチューセッツ工科大学客員研究員。昭和52年10月から現在、東京電機大学工学部教授。平成7年4月から3年間、東京電機大学工学部第一部長。平成10年4月から4年間、東京電機大学学長。日本生体磁気学会会長、生体磁気国際会議会長、ライフサポート学会会長、日本ME学会副会長を歴任。日本ME学会名誉会員。大学評価・学位授与機構大学評価専門委員、(財)カシオ科学振興財団選考審査委員他多数。

平成18年度事業報告

1. 通常会員の増強について

校友会は、学園と緊密に連携を保ちながら会員相互の親睦を深めることを目的としている。

そこで、会費切れの卒業生に対して次のような事業を展開し、会員拡張に努め財政の健全化を目指した。

(1) 校友会と会員相互および卒業生との連携強化
昨年度より校友会のホームページが新しくなり、新着情報管理ツールを付加して、トップページなどで紹介する **What's New** やイベント情報など日々変化する情報を常に更新して情報提供ができるようになった。

そして、情報更新ツールやショッピングカートツールを付加してホームページの機能充実を図り、卒業生に対し積極的な広報活動や会員サービスを展開することを検討した。

(2) 会費収入の増加策

新たに組織管理委員会を設置し、会員拡張策に関連する次の事項について検討を開始した。

- ① 通常会員会費収入の現状分析と増加策
- ② 地方支部の現状分析と支部再整備
- ③ 終身会員制への移行

また、例年、6月に翌年度会費切れとなる会員に対して継続加入の案内を送付しているが、加えて、12月には特定卒業年度の会費切れの卒業生(約20,000人)を対象に加入案内を追加して送付した。その結果、約1,000人(会費約4,000千円)の加入者を得ることができた。

(3) 職域電機会の新規設立

校友会には64団体の職域電機会が組織され、主に同一企業内の **OB** で構成された職域電機会はその内の35団体である。これを積極的に拡張するために2月に開催された就職セミナー(大学同窓会主催)への参加企業(約250社)を対象に職域電機会設立に関するアンケートをお願いした。

今後、積極的に設立の要請をお願いしていきたい。

2. 校友会員に対するサービスの充実について

これまでの各種サービスを見直し、会員にとって魅力あるサービスの展開に努めた。

- (1) 会員向けの施設利用補助金額を見直した。
- (2) 各種優待サービスや料金割引サービスの提供が可能な協力店等の開発をした。
- (3) 一般社会人、卒業生、在学生を対象に、学園が主催している公開講座等を校友会員が受講する際に、優待価格で受講できるようにし、校友会員の生涯学習の推進を図った。
- (4) 幹旋事業

従前と同様に次の幹旋を行った。

- ① 学園図書館の利用幹旋
- ② 学術図書雑誌の購入幹旋
- ③ 法律、特許相談の幹旋
- ④ 学園厚生施設利用幹旋

学園所有の厚生施設は平成18年度をもって閉鎖となることから、利用幹旋最後の年となった。

- ⑤ 校友会協定施設利用幹旋
- ⑥ 校友会員限定特別割引の幹旋

(5) 校友会会員証の検討

以前にも検討したことのあるクレジット機能付きの校友会会員証の発行について改めて検討したが、諸般の事情を考慮し見送ることとした。

(6) 校友会員へのメールアドレスの発行を検討
メールアドレスの発行について検討したが、今後、生涯使用できる転送メールアドレスの提供へと方向性を変えて検討することとした。

校友会主導で、生涯使用できる転送専用メールアドレスを準会員に提供する計画とした。

3. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として以下の事業を行った。

(1) 支部活動の活性化

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がるという考えから校友会の役員が出席し、校友会活動および学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図り支部活動を支援した。

なお、岩手県支部が新たに設立され、東京都を除く全国の地方および県に支部が設置できた。

また、学園主催による創立100周年記念公開講演会(全国6箇所)の開催に併せて総会を開催した支部が多く、例年を大きく上回る28箇所(別表-1)での開催であった。

(2) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校

同窓会の活動に対して、総会への協力はもとより、日頃から、積極的に支援と協力をした。

(3) 職域電機会の活性化

職域電機会の積極的な活動を支援するとともに、県支部との緊密な連携を保持し会員相互の親睦を深めることを目的として、新規設立を目標に前述1-(3)のとおり活動を開始した。

なお、18の職域電機会（別表-2）において総会が開催された。

(4) 留学生OBとの連携

例年同様、本学園の留学生で日本に居住している卒業生と校友会準会員である在学中の留学生との交流会を12月9日（土）に浅草から出発する屋形船で開催した。留学生OB、現役学生、教職員、校友会役員等総勢33名の参加者であった。これにより、留学生の校友会に対する理解を深めると同時に、学園への帰属意識の高揚を図った。

4. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。そのためには、社会全般に対する公益事業を積極的に実施することが望まれ、本年度については次の講演会・見学会等の開催・共催を実施した。

(1) 公開講演会関係

学園主催による創立100周年記念公開講演会(全国6箇所)の共催の他に、県支部主催による公開講演会が多数開催され、都合17箇所（別表-3）での開催であった。それぞれに多くの一般参加者を含む講演会であった。

(2) 見学会関係

校友会、商工懇話会、電機学校総会主催の見学会の他に、県支部主催による見学会が開催され、都合9箇所（別表-4）での開催であった。

(3) 協賛した事業（5件）

- ・ME講座 全10回開催（学園：エクステンションセンター主催）
- ・マセマティカ講座（学園：エクステンションセンター主催）
- ・環境フォーラム（理工学部主催）
- ・ロボット工作教室 年4回開催（学園：エク

テンションセンター主催）

- ・修士論文発表会（工学研究科主催）

5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える。昨年に引き続き校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）に備えて準備金（2,000千円）の積立を行った。その結果、平成18年度末現在での積立金額は8,000千円となった。

6. 学園創立100周年記念事業への協力

(1) 学園創立100周年記念事業への援助金積立

学園は、明治40年9月に電機学校として設立され、平成19年9月11日には創立100周年を迎えることになる。学園創立の記念となる周期の年には、従来より、校友会から学園の記念事業への援助を実施しており、今回も学園創立100周年にあたって援助金（1,000千円）の積立を行った。その結果、平成18年度末現在での積立金額は4,000千円となった。

(2) 学園創立100周年記念公開講演

学園主催、後援会・校友会共催による学園創立100周年記念公開講演が全国6会場において開催され、成功裡に終えることができた。

開催地区は、札幌（9月23日）、仙台（10月21日）、新潟（10月28日）、高崎（10月29日）、福岡（11月26日）、名古屋（12月3日）であった。

併せて、支部総会および父母懇談会後の懇親会の席上、卒業生および在学生のご父母に対し学園創立100周年記念募金活動への協力を要請した。

7. 学園との連携強化

(1) 学生募集の支援

進学適齢人口の減少は急速に進行し、学園は学部・学科の改編を行い教育研究の特色化、個性化を図り、社会への要求に応えようと努めている。校友会では、教職校友会および県支部長や支部総会を通じて、志願者増につながるように学園の広報を積極的に行った。

(2) 経営同友会の運営に協力

経営同友会は本学園と産業界で活躍されている校友の方々との間に産学協同ネットワークを構築

し、会員企業、学園ならびに校友の発展を目指すことを目的に設立された組織であり、校友会では、学園と校友との連携の重要性に鑑みて、経営同友会の運営について講演会の受付業務等微力ではあるが協力した。

以上

別表-1：支部総会の開催状況

日付	支部名	日付	支部名	日付	支部名
4月22日	富山県支部	10月21日	宮城県支部	11月26日	熊本県支部
5月27日	埼玉県支部	10月28日	新潟電機会	11月26日	秋田県支部
5月27日	石川県支部	10月28日	沖縄県支部	12月3日	東海支部
6月3日	神奈川県支部	10月29日	群馬県支部	12月3日	三重県支部
6月10日	千葉県支部	11月3日	鹿児島県支部・宮崎県支部合同	12月9日	香川県支部
6月18日	岐阜県支部	11月12日	長崎県支部	1月27日	愛媛県支部
7月8日	茨城県支部	11月18日	山陰支部	3月17日	山陽支部
8月5日	青森県支部	11月18日	長野県支部・山梨県支部合同	3月24日	岩手県支部
8月27日	福井県支部	11月25日	新潟県中央電機会		
9月23日	北海道支部	11月26日	九州支部・福岡県支部合同		

別表-2：電機会総会の開催状況

日付	電機会名	日付	電機会名	日付	電機会名
4月22日	商工懇話会春季総会	6月16日	東管支部	10月6日	商工懇話会秋季総会
5月31日	東管東京東電機会	6月24日	教職校友会	11月27日	関電工電機会
6月2日	大成建設電機会	7月1日	教職校友会神奈川支部	1月13日	電磁電機会
6月7日	民間放送校友会	8月30日	東管東京南電機会	1月19日	日本電波工業電機会
6月9日	東管神奈川電機会	9月19日	東管東京北電機会	2月23日	都電電機会
6月15日	東光電気工事電機会	9月22日	東管千葉電機会	3月10日	三菱電機会

別表-3：公開講演会の開催状況

日付	演題	講師	主催
4月4日	燃料電池の世界	西川尚男特任教授	神奈川県支部
4月22日	理工系学生の「ものづくり」の現状について	西村一郎講師	富山県支部
5月27日	世界最大裸眼立体ディスプレイの開発と愛地球博における展示	新津靖教授	埼玉県支部
6月3日	マンションで安心して暮らすために（構造偽装問題その他）	野崎隆氏	神奈川県支部
6月10日	人間関係がうまくいく心理学	今野紀子教授	千葉県支部
7月8日	マンションの安全性を考える	野崎隆氏	茨城県支部
7月15日	脳神経などを再生して不老長寿をめざそう	小谷誠教授	神奈川県支部
7月22日	裸眼3D映像	新津靖教授	大学同窓会・新潟電機会合同
8月5日	耐震構造セミナー	今川憲英教授	青森県支部
9月23日	市民のための都市空間づくり	高田和幸助教授	北海道支部共催
10月21日	人に優しい医療機器づくり	舟久保昭夫教授	宮城県支部共催
10月28日	自然災害研究の最前線	片山恒雄特任教授	新潟電機会共催
10月29日	脳や肺の活動を調べる装置づくり	小谷誠教授	群馬県支部共催
11月18日	デザインの大切さ	福島博氏	山梨県・長野県支部
11月26日	インターネットを創った人々	脇英世教授	九州支部・福岡県支部共催
12月3日	高校生が判る知能・介助ロボット	齋藤之男教授	東海支部・愛知県支部共催
3月24日	脳を上手に育て幸せな人生を	小谷誠教授	岩手県支部

別表-4：見学会の開催状況

日付	場 所	参加者	主 催
5月27日	虫ヶ峰風力発電所（七尾市）	20名	石川県支部
6月4日	家族ぐるみ見学会—赤城高原牧場・群馬フラワーパーク—	80名	商工懇話会
7月22日	鳩山キャンパス	6名	新潟電機会
9月9日	立山黒部アルペンルート見学会（一泊二日）	50名	校友会
10月22日	草木ダム・足尾銅山	54名	電機学校
11月12日	つくば宇宙センター見学会	38名	校友会
11月25日	（独）産業技術総合研究所つくばセンター	14名	茨城県支部
12月2日	川崎市東芝科学館	35名	神奈川県支部
12月6日	成田空港管制塔	19名	千葉県支部

(評議員会・総会共通 第2号議案)

平成18年度決算並びに監査報告

平成18年度収支計算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

一 般 会 計

(単位：円)

科 目	入 の 部		
	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 会 費 収 入	74,160,000	79,858,200	△5,698,200
通常会員会費収入	12,000,000	16,117,800	△4,117,800
予納会員会費収入	62,160,000	63,740,400	△1,580,400
2. 運 用 財 産 収 入	10,200,000	10,184,273	15,727
受取利息配当金収入	200,000	184,273	15,727
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
3. 寄 付 金 収 入	2,650,000	5,268,710	△2,618,710
広告寄付金収入	2,000,000	4,794,000	△2,794,000
その他寄付金収入	650,000	474,710	175,290
4. 雑 収 入	505,000	7,826,515	△7,321,515
見学・講演会収入	500,000	1,590,000	△1,090,000
※その他収入	5,000	6,236,515	△6,231,515
5. 特 定 資 産 取 崩 収 入	3,000,000	37,024,657	△34,024,657
事業積立金特定資産取崩収入	3,000,000	37,024,657	△34,024,657
当 期 収 入 合 計	90,515,000	140,162,355	△49,647,355
前 期 繰 越 収 支 差 額	31,819,674	31,819,674	0
収 入 合 計	122,334,674	171,982,029	△49,647,355

※その他収入…学園から工学情報発行・発送にかかわる補助
含む

科 目	支 出 の 部		
	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事 業 費	60,015,000	62,124,728	△2,109,728
会報発行費	20,720,000	25,555,287	△4,835,287
名簿管理費	7,100,000	6,521,284	578,716
Web情報発信サービス	1,255,000	577,500	677,500
支部援助費	14,800,000	14,459,945	340,055
その他事業費	3,600,000	3,770,312	△170,312
同窓会援助費	12,540,000	11,240,400	1,299,600
2. 管 理 費	23,500,000	20,240,661	3,259,339
給与手当	6,300,000	6,236,340	63,660
委託費	6,100,000	5,228,082	871,918
慶弔費	300,000	104,100	195,900
旅費交通費	150,000	79,230	70,770
会議費	4,850,000	3,204,920	1,645,080
通信運搬費	2,400,000	2,473,846	△73,846
印刷製本費	200,000	56,847	143,153
賃借料	850,000	784,319	65,681
消耗品費	1,700,000	1,572,606	127,394
雑費	650,000	500,371	149,629
3. 特 定 資 産 繰 入 支 出	18,000,000	54,994,000	△36,994,000
校友会100周年積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0
学園100周年積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0
事業積立特定資産繰入支出	12,000,000	48,994,000	△36,994,000
通常会員特定資産繰入支出	3,000,000	3,000,000	0
4. 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
当 期 支 出 合 計	102,515,000	137,359,389	△34,844,389
当 期 収 支 差 額	△12,000,000	2,802,966	△14,802,966
次 期 繰 越 収 支 差 額	19,819,674	34,622,640	△14,802,966

学校預託金の内訳

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	期首残高	増 加	減 少	期末残高
準会員学校預託金	238,610,800	69,546,000	69,350,400	238,806,400
正会員学校預託金	488,770,656	63,350,400	63,740,400	488,380,656

(第2号議案関連)

貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

一 般 会 計

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	28,238,189		
未収入金	6,409,451		
流動資産合計		34,647,640	
2. 固定資産			
基本資産			
金銭信託預金	2,000,000		
基本財産合計	2,000,000		
その他の固定資産			
器 具 備 品	4,914,368		
器具備品減価償却累計額	△4,343,047		
準会員学校預託金	238,806,400		
正会員学校預託金	488,380,656		
事業積立特定資産	28,994,000		
通常会員会費特定資産	27,200,000		
校友会100周年積立金	8,000,000		
学園100周年積立金	4,000,000		
有価証券	2,430,830		
その他の固定資産合計	798,383,207		
固定資産合計		800,383,207	
資産合計			835,030,847
II. 負債の部			
1. 流動負債			
源泉預り金	25,000		
流動負債合計		25,000	
2. 固定負債			
準会員前受金	238,806,400		
正会員前受金	488,380,656		
固定負債合計		727,187,056	
負債合計			727,212,056
III. 正味財産の部			
正味財産			107,818,791
(うち基本金)			(2,000,000)
(うち当期正味財産増加額)			(20,561,714)
負債及び正味財産合計			835,030,847

(第2号議案関連)

正味財産増減計算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:円)

一般会計

増加原因の部	
科目	金額
会費収入	79,858,200
通常会員会費収入	16,117,800
予納会員会費収入	63,740,400
運用財産収入	10,184,273
受取利息配当金収入	184,273
預託金運用収入	10,000,000
寄付金収入	5,268,710
広告寄付金収入	4,794,000
その他寄付金収入	474,710
雑収入	7,826,515
見学・講演会収入	1,590,000
その他収入	6,236,515
増加原因の部合計	103,137,698

減少原因の部	
科目	金額
事業費	62,124,728
会報発行費	25,555,287
名簿管理費	6,521,284
支部援助費	14,459,945
その他事業費	3,770,312
同窓会援助費	11,240,400
Web情報発信サービス	577,500
管理費	20,240,661
給与手当	6,236,340
委託費	5,228,082
慶弔費	104,100
旅費交通費	79,230
会議費	3,204,920
通信運搬費	2,473,846
印刷製本費	56,847
賃借料	784,319
消耗品費	1,572,606
雑費	500,371
減価償却額	210,595
減少原因の部合計	82,575,984
当期正味財産増加額	20,561,714
前期繰越正味財産額	87,257,077
期末正味財産合計額	107,818,791

財産目録

(平成19年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
I 基本財産	2,000,000
住友信託銀行貸付信託	2,000,000
II 運用財産	833,030,847
1. 流動資産	34,647,640
(1)現金預金	28,238,189
(2)未収入金	6,409,451
2. 固定資産	798,383,207
(1)学校預託金	727,187,056
準会員学校預託金	238,806,400
正会員学校預託金	488,380,656
(2)事業積立特定資産	28,994,000
(3)通常会員会費特定資産	27,200,000
(4)校友会100周年積立金	8,000,000
(5)学園100周年積立金	4,000,000
(6)器具備品	571,321
(7)有価証券	2,430,830
資産合計	835,030,847

負債の部	
科目	金額
I 流動負債	25,000
(1)源泉預り金	25,000
II 固定負債	727,187,056
(1)学校預託金	727,187,056
準会員前受金	238,806,400
正会員前受金	488,380,656
負債合計	727,212,056
正味財産	107,818,791
総計	835,030,847

監査結果

1. 当法人の財産管理は正確である。
2. 理事の業務執行は適法である。

平成19年4月17日

監事 小長谷 登 ④
窪田 輝 巳 ④
峯澤 意 卓 ④

(第2号議案関連)

準会員事業基金収支計算書
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 運用財産収入	10,500,000	10,707,079	△207,079
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,319,350	△319,350
3. 特定資産取崩収入	0	40,000,000	△40,000,000
4. 預託金繰入収入	6,000,000	6,000,000	0
当期収入合計	20,500,000	61,026,429	△40,526,429
前期繰越収支差額	8,224,772	8,224,772	0
収入合計	28,724,772	69,251,201	△40,526,429

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事業費	13,500,000	12,391,249	1,108,751
クラブ活動補助費	4,350,000	4,341,625	8,375
全学行事補助費	4,350,000	3,970,436	379,564
卒入学記念品費	2,500,000	2,470,408	29,592
卒論発表会・就職セミナー	300,000	50,000	250,000
工学情報分担金	2,000,000	1,558,780	441,220
2. 管理費	100,000	69,026	30,974
雑費	100,000	69,026	30,974
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	1,402,000	4,098,000
4. 特定資産繰入支出	0	39,956,385	△39,956,385
5. 予備費	1,400,000	0	1,400,000
当期支出合計	20,500,000	53,818,660	△33,318,660
当期収支差額	0	7,207,769	△7,207,769
次期繰越収支差額	8,224,772	15,432,541	△7,207,769

準会員事業基金貸借対照表
(平成19年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	15,432,541
流動資産合計	15,432,541
2. 固定資産	
その他の固定資産	
奨学貸付金	20,057,046
準会員事業基金	84,608,716
その他の固定資産合計	104,665,762
固定資産合計	104,665,762
資産合計	120,098,303
II. 負債の部	
1. 流動負債	
2. 固定負債	
III. 正味財産の部	
正味財産	120,098,303
(うち当期正味財産増加額)	(4,246,804)
負債及び正味財産合計	120,098,303

準会員事業基金正味財産増減計算書
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額
I. 増加原因の部	
運用財産収入	10,707,079
基金利息収入	707,079
預託金運用収入	10,000,000
預託金繰入収入	6,000,000
増加原因の部合計	16,707,079
II. 減少原因の部	
事業費	12,391,249
クラブ活動補助費	4,341,625
全学行事補助費	3,970,436
卒入学記念品費	2,470,408
卒論発表会・就職セミナー	50,000
工学情報分担金	1,558,780
管理費	69,026
雑費	69,026
減少原因の部合計	12,460,275
当期正味財産増加額	4,246,804
前期繰越正味財産額	115,851,499
期末正味財産合計額	120,098,303

(第2号議案関連)

準会員事業基金財産目録
(平成19年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部	
科 目	金 額
I 運用財産	
1. 流動資産	15,432,541
(1)現金預金	15,432,541
2. その他の固定資産	104,665,762
(1)奨学金貸付 52名	20,057,046
(2)準会員事業基金	84,608,716
資 産 合 計	120,098,303

負 債 の 部	
科 目	金 額
正 味 財 産	120,098,303
負 債 合 計	120,098,303

(評議員会・総会共通 第3号議案)

平成19年度事業計画

社団法人東京電機大学校友会(以下「校友会」という。))は、本年迎える学園創立100周年の2年後(平成21年)に校友会創立100周年を迎える。従って、この平成19年度を校友会創立100周年記念事業へのキックオフの年とすべく本事業計画を策定する。そして、将来に向けて確固たる校友会を構築するため、校友会員に対するサービスの向上により通常会員の増強に努める。

学園の創立100周年を迎える平成19年度は、大学の命運を賭けた全学的改編が本格的に始動する節目の年であり、100年の歴史と伝統を礎に輝ける未来を創造し、更なる飛躍を目指した新たな100年の布石とすべき年となる。

とりわけ平成19年度は、校友会は学園創立100周年記念事業が盛大に挙行できるよう積極的な協力を行う。

1. 校友会員に対するサービスの充実

これまでの各種サービスを見直し、会員にとって更なる魅力あるサービスが展開できるよう鋭意検討し実現を目指す。

なお、校友会員に対するサービスの基礎となる通常会員の増強について、会員拡張に努めるとともに財政の健全化を図る。

(1) 生涯使用できる転送メールアドレス提供の検討

学園の学生・生徒は入学時に学園からメールアドレスを付与されている。しかしながら、このア

ドレスは卒業と同時に消滅してしまう。そこで、校友会主導で生涯使用できる転送専用メールアドレスの提供を計画する。転送用メールアドレスは各校入学時に付与する。これにより、卒業生においては同窓との連絡が取り易くなり(途絶えにくくなり)、校友会においては、いつでも卒業生本人にアクセスすることが可能となる大きなメリットが生まれる。

なお、この事業を校友会100周年記念事業と位置づけることにしたい。

(2) 転職希望者への情報提供サイトの検討

一般社会では、企業への就職後3年以内での転職希望者が3割近くに達するといわれている。本学園の卒業生でも例外ではなく、転職希望者が発生しているのは容易に推測できる。これら第二新卒者といわれる卒業生への転職対応窓口として、学生支援センター(キャリア支援・就職担当)と協議のうえ校友会のホームページ上に転職情報提供サイトを立ち上げるよう計画する。これは、転職希望者(卒業生)への支援はもとより、例えば「本学の卒業生をぜひ求人したい」という企業支援の側面も併せ持った仕組みである。

なお、この事業を校友会100周年記念事業と位置づけることにしたい。

また、2月に開催された就職セミナー(大学同窓会主催)への参加企業(約250社)に対して、転職についての情報提供に関するアンケートを実施していることを付記する。

(3) 会員への斡旋事業

- ① 学園図書館の利用斡旋
- ② 学術図書雑誌の購入斡旋

③法律、特許相談の斡旋

④校友会協定施設の利用斡旋および補助

学園所有の厚生施設は残念ながら全て閉鎖となった。今後は、9箇所の協定施設を積極的に広報するとともに、会員が利用したくなるような会員向けの施設利用補助金額を設定できるよう検討し、会員への特典の充実を図りたい。

⑤校友会会員限定の特別割引物品の斡旋

(4) ホームページからの加入促進

インターネットが職場ならびに一般家庭に普及して久しい。日々の情報をインターネットから得ている卒業生が多数いることは枚挙にいとまがない。また、オンラインショッピングにクレジットカード決済、コンビニ決済を利用するのが一般的になりつつある。

そこで、会費切れの卒業生が校友会のホームページにアクセスし校友会に加入する意思を持ったとき、即時、カード決済、コンビニ決済で加入できるようにホームページの機能充実を図る。

なお、後述の終身会員制への移行と相反する事業ではあるが、現時点では、時間的観点から加入促進策が優先すると判断する。

(5) 校友会への加入案内の追加送付

例年、6月に翌年度会費切れとなる会員に対して継続加入の案内を送付している。また、工学情報・冬号を会員でない住所判明者(約50,000人)に送付し、加入案内をしている。新たに、昨年12月には特定卒業年度の会費切れの卒業生(約20,000人)を対象に加入案内を追加して送付した。その結果、約1,000人(会費約4,000千円)の加入者を得ることができダイレクトメールが効を奏した。今年も引き続き加入案内を追加送付して会員獲得に努める。

2. 校友会活動の活性化

校友会会員向けの活動として以下の事業を行う。

(1) 支部活動の活性化

平成19年3月の岩手県支部の設立をもって、東京都を除く全国の地方および県に支部が設置できた。これは、県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がるという考えのもと、ここ数年にわたって支部の設立を展開してきた成果である。

今後とも、事務経費、総会雑費等、支部への援助を継続して実施する。

なお、住所判明者が3,000人を超える支部に対して、当該支部の活動状況を勘案して事務経費を増額したい。

(2) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対し、例年同様に、支援ならびに協力をする。

(3) 職域電機会の活性化と新規設立の誘導

職域電機会への積極的な活動を支援するとともに県支部との緊密な連携を保持し、会員相互の親睦を深めるとともに職域電機会への支援体制について検討する。

校友会には64団体の職域電機会が組織され、主に同一企業内のOBで構成された職域電機会はその内の35団体である。これを積極的に拡張するよう努めたい。2月に開催された就職セミナー(大学同窓会主催)への参加企業は約250社あり、これらの企業を対象に職域電機会設立に関するアンケートをお願いした。今後、積極的に設立の要請をお願いし、既存の職域電機会の拡張に結び付けたい。そのため、些少ではあるが事務経費的補助について検討する。

(4) 留学生OBとの連携

昨年度に引き続き、本学園の留学生で日本に住んでいる卒業生と校友会準会員である在学中の留学生との交流会を、学生支援センター(学生厚生担当)の協力のもと開催する。これを通じて、留学生の校友会に対する理解を深めると同時に、海外支部の拠点作りの準備を行い、学園への帰属意識の高揚を図る。

(5) 校友会システムのマイナーチェンジ

校友会の情報管理システムは平成12年度に導入(購入)してからリプレースを行っておらず、現在では、基本ソフトのメンテナンスが取れない状況にある。そこで、システムのマイナーチェンジに伴う開発および機器の導入(リース)を行いたい。なお、平成19年度は学園の教学システムリプレースの年であり、校友会システムの開発も併せて行われることを希望するが、校友会が単独で開発せざるを得ない場合を想定し8ヶ月分を積算し事業を行う。

なお、校友会システムに構築する卒業生の各種情報は校友会の基本的財産であり、学園にとって

も貴重な財産といえる。

(6) 校友会組織の基盤に関する検討

昨年度新たに設置した組織管理委員会において、会員拡張策を含め校友会組織の基盤に関する事項について鋭意検討を進めている。確固たる校友会組織を構築するために平成19年度も引き続き検討を重ねていく。

検討事項は次のとおりである。

- ① 通常会員会費収入の現状分析と増加策
- ② 地方支部の現状分析と支部再整備
- ③ 終身会員制への移行

3. 準会員への支援

校友会では、例年、準会員である学園の学生・生徒に対して数多くの支援を行っており、今後もその体制は継続していく所存である。

平成19年度は、準会員への新規事業として、現在または近い将来メディアに出られる可能性のあるイベントを重点的に支援し、創作意欲の醸成・活動の活性化ならびに、ひいては学生募集に繋がることを期待する。

準会員への支援事業は次のとおりである。

- ① クラブ活動補助
- ② 全学行事補助
- ③ 卒業式・入学式記念品補助
- ④ 卒論発表会・就職セミナー等支援
- ⑤ 準会員向け工学情報 (KJ) 発行
- ⑥ 東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付

4. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に、会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。

ついては、社会全般に対する公益事業を積極的に実施するため、以下の事業を実施する。

- ① 公開講演会の主催、共催、後援（地方会場での開催を含む）
- ② 見学会の主催、共催、後援
- ③ 学園主催の公開講座（ME 講座、マセマティカ講座、ロボット製作講座等）の協賛
- ④ 大学院博士・修士論文発表会協賛
- ⑤ その他事業への支援

5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える。その記念事業として以下の事業を推進する。

- (1) 校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）の計画・立案と推進
- (2) 昨年度に引き続き、記念事業に備えて準備金の積立
- (3) 生涯使用できる転送メールアドレス提供の検討
- (4) 転職希望者への情報提供サイトの検討

6. 学園創立100周年記念事業への協力

学園は、明治40年9月に電機学校として設立され、平成19年9月11日に創立100周年を迎えることになる。従来も校友会から学園の周年記念事業へは寄付協力援助を実施しており、今回も学園創立100周年にあたって下記の事業を行うとともに、卒業生に課せられた寄付金の目標達成に協力する。

- (1) 学園創立100周年記念事業にあたり校友会より寄付を行う。
- (2) 学園創立100周年記念事業に対し、創立100周年に相応しい事業が実施できるよう卒業生向けの募金活動を校友会総会、支部総会、全国支部長会や職域電機会会長会等を通じ、積極的に協力要請を行う。
- (3) 学園創立100周年公開講演会（継続）への共催
昨年、学園主催による学園創立100周年公開講演会を全国6会場で開催し校友会はこれを共催した。引き続き平成19年度は次の2会場での公開講演会に協力する。

また、公開講演会の開催に合わせて校友会総会および評議員会ならびに支部総会を開催するとともに、卒業生および準会員のご父母に対し学園創立100周年記念募金活動への協力を要請する。

〔学園創立100周年公開講演会〕

東 京 平成19年5月19日（土）

神田キャンパス

大 阪 平成19年6月16日（土）

大阪ガーデンパレス

7. 学園との連携強化

学園発展のために、学園の様々な活動に対して

側面からバックアップする所存であるが、とりわけ学生募集の支援に力を入れたい。

進学適齢人口の減少は急速に進行し、学園においても学部・学科を再編成し教育研究の特色化、個性化を図り、新しい時代の社会的要請に応えよ

うと努めている。

校友会としては、そのような現状を踏まえて、学園との連携を図り、地方支部への広報活動を通じ、推薦入試等で学生募集を支援する。

以上

(評議員会・総会共通 第4号議案)

平成19年度予算

平成19年度収支予算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

一般会計

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 会費収入	72,000,000	74,160,000	△2,160,000
通常会員会費収入	10,000,000	12,000,000	△2,000,000
予納会員会費収入	62,000,000	62,160,000	△160,000
2. 運用財産収入	10,200,000	10,200,000	0
受取利息配当金収入	200,000	200,000	0
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
3. 寄付金収入	4,150,000	2,650,000	1,500,000
広告寄付金収入	3,500,000	2,000,000	1,500,000
その他収入	650,000	650,000	0
4. 雑収入	510,000	505,000	5,000
見学・講演会収入	500,000	500,000	0
その他収入	10,000	5,000	5,000
5. 特定資産取崩収入	6,000,000	3,000,000	3,000,000
事業積立金特定資産取崩収入	2,000,000	3,000,000	△1,000,000
学園100周年積立金取崩収入	4,000,000	0	4,000,000
6. 準会員会計繰入収入	111,000,000	0	111,000,000
準会員会計繰入収入	111,000,000	0	111,000,000
当期収入合計	203,860,000	90,515,000	113,345,000
前期繰越収支差額	34,622,640	31,819,674	2,802,966
収入合計	238,482,640	122,334,674	116,147,966

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	67,120,000	60,015,000	7,105,000
会報発行費	26,920,000	20,720,000	6,200,000
名簿管理費	7,250,000	7,100,000	150,000
Web情報発信サービス	2,380,000	1,255,000	1,125,000
支部援助費	16,050,000	14,800,000	1,250,000
その他事業費	3,500,000	3,600,000	△100,000
同窓会援助費	11,020,000	12,540,000	△1,520,000
2. 管理費	25,280,000	23,500,000	1,780,000
給料手当	6,300,000	6,300,000	0
委託費	5,900,000	6,100,000	△200,000
慶弔費	300,000	300,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
会議費	4,450,000	4,850,000	△400,000
通信運搬費	2,400,000	2,400,000	0
印刷製本費	200,000	200,000	0
賃借料	3,280,000	850,000	2,430,000
消耗品費	1,700,000	1,700,000	0
雑費	600,000	650,000	△50,000
3. 特定資産繰入支出	22,000,000	18,000,000	4,000,000
事業積立特定資産繰入支出	15,000,000	12,000,000	3,000,000
通常会員会費特定資産繰入支出	5,000,000	3,000,000	2,000,000
校友会100周年積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0
学園100周年積立金繰入支出	0	1,000,000	△1,000,000
4. 寄付金支出	100,000,000	0	100,000,000
学園創立100周年寄付金支出	100,000,000	0	100,000,000
5. 予備費	2,000,000	1,000,000	1,000,000
当期支出合計	216,400,000	102,515,000	113,885,000
当期収支差額	△12,540,000	△12,000,000	△540,000
次期繰越収支差額	22,082,640	19,819,674	2,262,966
支出合計	238,482,640	122,334,674	116,147,966

学校預託金の内訳

(平成19年3月末日参照)

	期首残高	増加	減少	期末残高
準会員会費学校預託金	238,806,400	63,000,000	178,638,000	123,168,400
正会員会費学校預託金	488,380,656	61,638,000	62,000,000	488,018,656

(第4号議案関連)

準会員事業基金収支予算書
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:円)

収入の部			
科目	予算額	前年度予算額	差異
1. 運用財産収入	10,500,000	10,500,000	0
基金利息収入	500,000	500,000	0
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,000,000	0
3. 預託金繰入収入	6,000,000	6,000,000	0
4. 特定資産取崩収入	0	0	0
5. 準会員預託金取崩収入	111,000,000	0	111,000,000
当期収入合計	131,500,000	20,500,000	111,000,000
前期繰越収支差額	15,432,541	8,224,772	7,207,769
収入合計	146,932,541	28,724,772	118,207,769

支出の部			
科目	予算額	前年度予算額	差異
1. 事業費	15,500,000	13,500,000	2,000,000
クラブ活動補助費	4,350,000	4,350,000	0
全学行事補助費	4,350,000	4,350,000	0
卒入学記念品費	2,500,000	2,500,000	0
卒業発表会・就職セミナー等援助	300,000	300,000	0
工学情報分担金	2,000,000	2,000,000	0
イベント協賛援助費	2,000,000	0	2,000,000
2. 管理費	100,000	100,000	0
雑費	100,000	100,000	0
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	5,500,000	0
4. 特定資産繰入支出	0	0	0
5. 一般会計繰入支出	111,000,000	0	111,000,000
6. 予備費	1,400,000	1,400,000	0
当期支出合計	133,500,000	20,500,000	113,000,000
当期繰越収支差額	△2,000,000	0	△2,000,000
次期繰越収支差額	13,432,541	8,224,772	5,207,769
支出合計	146,932,541	28,724,772	118,207,769

(評議員会・総会共通 第5号議案)

平成19・20年度評議員選出の件

別添資料「平成19・20年度評議員候補者(案)」参照。

(評議員会 第6号議案)

理事・監事の候補者推薦について

【定款第13条第1項第一号理事】

1. 候補者の推薦は、定款施行細則第3条の定めるところにより以下のとおり

- ①同窓会並びに支部・電機会
- ②理事会

2. 推薦状況

		①同窓会 並びに電機会	②理事会	備考
推薦母体数		90件	1件	
回答数	総数	47件	0件	理事10名, 監事1名
	候補者指名	7件	0件	
	理事会一任	41件	……	

3. 第618回定例理事会(4月24日開催)決定事項
候補者が監事改選については定数どおり1名であるが、理事改選については定数を上回ったため

慎重審議の結果、評議員会には下記のとおり提案することを決定した。

評議員会における理事・監事の選出について

- ①候補者各位の心情を配慮し、氏名は公表せず人数のみとする。
- ②理事・監事選考委員会を設置し、当委員会に選考を委ね、その結果を評議員会に報告し承認を得る。
- ③理事・監事選考委員会の構成は、次のとおりとする。各校(大学・短大, 中学・高等学校, 電機学校)卒業生より各々2名、並びに議長, 理事長, 常務理事の合計9名とする。
- ④各校卒業者の選考委員は同窓会を通じて当日までに選出を依頼し、評議員会において承認を得る。

役職理事の推薦について

1. 平成19年4月24日開催第618回定例理事会において推薦された理事

【定款第13条第1項第二号理事】

石塚 正英(学生支援センター長)

常務理事の推薦について

1. 平成19年4月24日開催第618回定例理事会において推薦された理事

【定款第13条第1項第三号理事】

高久 廣毅（現 常務理事）

会務報告（概要）

1. 定例理事会

（議事録：「工学情報」に順次掲載済）

第610回・平成18年4月18日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 平成17年度決算の承認並びに監査報告について
- 議題3. 平成17年度事業報告の承認について
- 議題4. 平成18年度東京電機大学校友会事業委員会報告について
- 議題5. 校友会年間会議スケジュールについて

第611回・平成18年5月9日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 第116回評議員会・第61回総会について
- 議題3. 平成18年度理事・監事候補者の推薦及び就任日について
- 議題4. 名簿管理委員会の改編について
- 議題5. 平成18年度事業計画案実行担当について
- 議題6. 鳥人間コンテスト出場に伴う補助要請について

議題7. 情報環境学部のAO入試について

第612回・平成18年7月11日（火）

- 議題1. 前々回議事録の承認
- 議題2. 前回議事録の承認
- 議題3. 全国支部長会について
- 議題4. 創立100周年記念募金について

第613回・平成18年8月1日（火）

- 議題1. 正・副理事長の選出について
 - 議題2. 委員会並びに業務分担について
- 第614回・平成18年9月19日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 参与会の開催について

議題3. 評議員・理事・監事の選出スケジュールについて

議題4. 全国支部長会の開催について

議題5. 理事辞任の件について

第615回・平成18年10月24日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
 - 議題2. 平成18年度上半期収支状況並びに監査報告
 - 議題3. 職域電機会の新規設立について
 - 議題4. 全国支部長会の対応について
 - 議題5. 参与会の対応について
 - 議題6. 年末役員懇談会の実施について
 - 議題7. 留学生交流会の開催について
 - 議題8. 職域電機会長会の実施について
- 第616回・平成18年12月5日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
 - 議題2. 学園卒業生評議員候補者の推薦について
 - 報告3. 年末役員懇談会の実施について
 - 報告4. 文部科学省実地検査報告について
 - 報告5. 留学生交流会の開催について
- 第617回・平成19年2月27日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 中・高同窓会費の改定について
- 議題3. 平成19年度事業計画案について
- 議題4. 平成19年度予算案について
- 議題5. 岩手県支部の新規設立について
- 議題6. 東京電機大学校友会イベント協賛実施について
- 議題7. 預託金管理委員会規程の一部改正について
- 議題8. 準会員事業費運用委員会規程一部改正について
- 議題9. 平成19年度校友会年間会議予定について

2. 評議員会・総会

（議事録：「工学情報」に掲載済）

第116回 評議員会 平成18年5月20日（土）

第61回 総会 平成18年5月20日（土）

3. 各委員会（省略）

各校卒業者（住所判明者）並びに校友会員数

（平成19年3月31日現在）

	電機学校	中学・高校	大学・短大	合計
住所判明者数	5,327	11,353	61,517	78,197
会 員 数	1,020	2,360	26,423	29,803

（備考）会員数＝会員台帳による数。最終卒業をもって正会員登録。

地 方 別 内 訳

（平成19年3月31日現在）

県 名	住所判明者数	会員数	県 名	住所判明者数	会員数	県 名	住所判明者数	会員数
北海道	489	187	福井県	105	46	山口県	152	52
青森県	186	84	山梨県	710	301	徳島県	123	42
岩手県	238	79	長野県	1,438	495	香川県	152	58
宮城県	439	184	岐阜県	263	81	愛媛県	135	48
秋田県	215	74	静岡県	2,063	721	高知県	111	43
山形県	223	93	愛知県	820	270	福岡県	333	129
福島県	586	260	三重県	242	80	佐賀県	67	20
茨城県	2,536	1,053	滋賀県	82	28	長崎県	126	44
栃木県	1,464	608	京都府	127	58	熊本県	108	44
群馬県	1,477	644	大阪府	276	103	大分県	128	67
埼玉県	16,264	6,763	兵庫県	329	105	宮崎県	119	39
千葉県	9,431	3,875	奈良県	71	20	鹿児島県	135	46
東京都	23,599	8,771	和歌山県	66	17	沖縄県	137	50
神奈川県	9,987	3,220	鳥取県	51	21	その他	132	21
新潟県	906	330	鳥根県	59	22			
富山県	689	216	岡山県	157	47			
石川県	288	98	広島県	363	146			
						合 計	78,197	29,803

平成18年度開催 総会・クラス会

開催日	名 称	開催日	名 称
18. 4. 1	高校 S29 定時制電気科電気機器課程卒クラス会	10. 11	高校 S31 全日制電気科電気計測課程卒クラス会
〃 8	大学同窓会総会	〃 19	高校 S26 全日制電気科電気機器課程卒クラス会
〃 15	大学 S39 工学部第一部電子工学科卒クラス会	〃 20	二工 S24 第一本科電気科4組卒クラス会
〃 〃	電機学校同窓会総会	〃 21	宮城県支部総会
〃 21	大学 S50 工学部第一部建築学科卒クラス会	〃 23	工専 S24 電気科卒クラス会
〃 22	富山県支部総会	〃 24	電機学校 S22 3月昼間部電気科本科卒クラス会
〃 〃	商工懇話会総会	〃 26	一工 S20 第二本科電気科卒クラス会
5. 13	中学・高等学校同窓会総会	〃 〃	工専 S26 電気科卒クラス会
〃 20	高校 S26 定時制電気科電力課程2組卒クラス会	〃 27	大学 S36 工学部第二部電気工学科卒クラス会
〃 〃	校友会第116回評議員会・第61回総会	〃 28	大学 S42 工学部第二部機械工学科卒クラス会
〃 21	電機学校 S19 6月昼間部電気科本科甲組・乙組卒合同クラス会	〃 〃	高校 H2 全日制電子機械科卒クラス会
〃 〃	高校 S27 定時制電気科電気機器課程卒クラス会	〃 〃	新潟電機会総会
〃 〃	高校 H18 全日制普通科3組卒クラス会	〃 29	大学 S30 工学部第一部電気工学科・電気通信工学科卒合同クラス会
〃 24	大学 S31 工学部第一部電気工学科卒クラス会	〃 〃	群馬県支部総会
〃 27	埼玉県支部総会	11. 3	鹿児島県支部・宮崎県支部合同総会
〃 〃	石川県支部総会	〃 4	大学 S43 工学部第一部応用理化学科卒クラス会
〃 31	東管支部東京東電機会総会	〃 〃	大学 H18 理工学部電子情報工学科卒縦の会 (APPLES)
6. 2	大成建設電機会総会	〃 5	二工 S24 第一本科電気科3組卒クラス会
〃 3	神奈川県支部総会	〃 11	大学 理工学部建設工学科・建設環境工学科卒縦の会 (鳩華会)
〃 〃	短大卒業生の会 (縦の会) 総会	〃 12	高校 S48 全日制普通科4組卒クラス会
〃 7	民間放送校友会総会	〃 〃	長崎県支部総会
〃 8	一工 S23 第一本科電気科卒クラス会	〃 18	短大 S33 電気科第二部卒クラス会
〃 9	東管神奈川電機会総会	〃 〃	高校 S42 全日制電気科3組卒クラス会
〃 10	工学部建築学科縦の会 (ABUの会)	〃 〃	高校 S39 定時制電気科電気通信課程卒クラス会
〃 〃	千葉県支部総会	〃 〃	山梨県支部・長野県支部合同総会
〃 11	高校 S36 全日制電気科電気機器課程卒クラス会	〃 〃	山陰支部総会
〃 15	東光電気工事電機会総会	〃 23	短大 S34 電気科第二部卒クラス会
〃 16	東管支部総会	〃 25	大学 S31 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
〃 17	高校 S36 定時制電気科電気通信課程卒クラス会	〃 〃	新潟県中央電機会総会
〃 〃	大学 S47 工学部第一部電気工学科卒クラス会	〃 〃	高校 S35 全日制電気科電力課程2組卒クラス会
〃 18	岐阜県支部総会	〃 26	福岡県支部総会
〃 24	教職校友会総会	〃 〃	熊本県支部総会
7. 1	教職校友会神奈川県支部総会	〃 27	関電工電機会総会
〃 6	電機学校 S15 昼間部電気科本科甲組・乙組卒合同クラス会	〃 29	一工 S18 第一本科電気科卒クラス会
〃 8	大学 S41 工学部第二部電子工学科卒クラス会	12. 2	高校 S40 全日制電気科電気通信課程2組卒クラス会
〃 〃	茨城県支部総会	〃 3	三重県支部総会
〃 22	工専 S25 電気科・大学 S27 工学部第一部電気工学科卒合同クラス会	〃 〃	東海支部総会
〃 29	高校 H3 全日制電子科1組卒クラス会	〃 9	香川県支部総会
8. 5	青森県支部総会	〃 16	大学 S41 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
〃 10	高校 S34 全日制電気科電力課程2組卒クラス会	〃 19	大学 S40 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
〃 27	中学 H15 普通科A組・B組・C組卒合同クラス会	〃 27	中学 H12 A組・B組・C組卒合同クラス会
〃 〃	福井県支部総会	19. 1. 13	電磁電機会総会
〃 30	東管支部東京南電機会総会	〃 19	高校 S27 全日制電気科電力課程3組卒クラス会
9. 7	高校 S26 全日制電気科電力課程1組卒クラス会	〃 〃	日本電波工業電機会総会
〃 16	高校 S26 全日制電気科電気通信課程卒クラス会	〃 27	短大 S35 電気科第二部・大学 S38 工学部第二部電気工学科卒合同クラス会
〃 〃	高校 S43 全日制普通科2組卒クラス会	〃 〃	愛媛県支部総会
〃 19	東管支部東京北電機会総会	2. 3	高校 S34 全日制電気科電力課程1組卒クラス会
〃 22	東管支部千葉電機会総会	〃 10	大学 理工学部産業機械工学科・知能機械工学科卒縦の会 (産機会)
〃 23	北海道支部総会	〃 13	高校 S35 全日制電気科電力課程1組卒クラス会
〃 24	高校 S42 全日制電気科1組卒クラス会	〃 23	東京都電機会総会
〃 27	工専 S22 電気科卒クラス会	〃 24	大学 S42 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
〃 30	大学 S35 工学部第一部電気工学科・電気通信工学科卒合同クラス会	3. 10	高校 H4 全日制普通科7組・8組卒合同クラス会
〃 〃	高校 S41 定時制電気科電力課程1組・2組・定時制電気科電気通信課程卒合同クラス会	〃 〃	三菱電機会総会
〃 〃	高校 S37 定時制電気科電力課程卒クラス会	〃 17	山陽支部総会
10. 6	大学 S42 工学部第一部機械工学科卒クラス会	〃 19	高校 H18 全日制普通科1組・2組・3組卒合同クラス会
〃 〃	商工懇話会 秋季総会	〃 24	岩手県支部設立総会